

# 多用途畜産運搬車を開発

## メイダイ 群馬の公営事業所向けに



他の用途にも対応できる機能を施した畜産用運搬車

開発製品は、ロープを引くと側面が翼のように開く「ワンタッチホロー」を、家畜運搬用の2トトラックに設置したもの。ワンタッチホローは、同社が自動車部品の迅速な輸送を目的し、約40年前に独自開発した看板商品。家畜の運搬時は通気性を確保するため、ワンタッチホローに側面のシートが脱着できる機能を施した。家畜以外を運ぶときは、荷台の仕切り用の柵を取り外せるようにした。

また、荷台の床面は、家畜のふんなどで汚れても清掃しやすいアルミ製を採用した。畜産用運搬車は現在、群馬県上野村が直営する「上野村いのぶたセンター」で、イノブタの出荷作業に使用されている。イノブタ

# 仕切り着脱で貨物も

トラックボデーや側面開放車両を製造販売する、メイダイ(本社豊田市青木町1の16、小幡銀伸社長、電話05665・45・4838)は、多様な用途に対応する畜産用運搬車を開発した。群馬県の農村地域からの要望に応えた。家畜の運搬時は、ほろの側面のシートを取り外せる構造にするなど随所に工夫を凝らした。今後、幅広い業種からの運搬車両の開発ニーズに応える方針。

(豊田・強田裕史)

だけでなく、みそや飼料なども運搬している。上野村は約40年前から、イノシンとブタの交配により作出したイノブタを特産品として売り出していた。しかし、年々畜産農家が減少し、現在は、いのぶただけでなく、みそや飼料なども運搬している。上野村は約40年前から、イノシンとブタの交配により作出したイノブタを特産品として売り出していた。しかし、年々畜産農家が減少し、現在は、いのぶただけでなく、みそや飼料なども運搬している。上野村は約40年前から、イノシンとブタの交配により作出したイノブタを特産品として売り出していた。しかし、年々畜産農家が減少し、現在は、いのぶただけでなく、みそや飼料なども運搬している。

社を通じ、メイダイ関東営業所(群馬県玉村町)に持ち込まれたことが開発のきっかけとなった。畜産業にも運搬車両製造の領域を広げたのを機に、多様な業種への開発ニーズに積極的に対応する方針だ。